

教育長年頭のあいさつ
一生懸命勉強しよう!



向野康雄 教育長

元気いっぱい、さやまっ子の皆さん、あけましておめでとうございます。心を新たに健やかに新年を迎えていることと思います。2018年は「戌年」です。犬は、社会性があり、昔から人間と生活をともにしてきました。その忠実さは「忠犬ハチ公」や「フランダースの犬」など、世界中で多くの物語になっています。ご自宅で飼っている人も多いでしょう。

また、「戌年」には「勤勉」「努力」という意味があるそうです。戌年にちなんで、さやまっ子の皆さんも、学校の勉強をしっかりと行い、家庭学習も毎日続けてください。それと同時に、やってみたいことや楽しいと思うことなど、何か夢中になれることを見つけて取り組んでみてください。

「好きこそものの上手なれ」ということわざがあります。誰でも好きなことには熱心に取り組み、工夫したり勉強したりするので、自然に上達するという意味です。夢のある言葉だと思いませんか。

新年は、新しいことを始める絶好のチャンスでもあります。今しかできないことを見つけて、楽しい一年を過ごすことができるよう、皆さんを応援しています。

竹の子学級がカレー作りに挑戦

12月9日(出)、入間川東小学校で、竹の子学級(特別支援学級)の児童11人が、自分たちでカレーライスを作り、保護者や先生に振る舞いました。



児童たちは、前日までに食材を買いそろえ、当日の朝、担任の先生に手伝ってもらいながら甘口と中辛の2種類のカレーを調理。教室に「竹のCOCOいちカレー」と名付けたお店を開店し、「いらっしゃいませ」「中辛いっしょう」と大きな声で接客しながら、盛り付けたカレーを配膳しました。

来店した保護者や先生は、「材料も食べやすい大きさに切れている」「こんなにおいしいカレーは久しぶり」と舌鼓を打ちながらカレーを頬張りました。

児童たちからは「野菜もちゃんと切ったよ」「お客さんと話せてうれしい」などの声が聞かれ、コミュニケーション能力や生活力を育む一助にもなりました。

一筆に込めた新年のメッセージ

12月1・8・15・22日(金) / 初心者書道教室(堀兼公民館)



一文字の賀詞を筆で書き、その周りに色紙を貼ったり、色付けをしたりして年賀状を制作。心がこもった新年のあいさつが完成しました。

災害時も「いつも」の備えで慌てない

12月14日(休) / お家で簡単防災対策(中央公民館)

自宅での避難生活を想定し、身近な物を使って生活する技を学ぶ講習会に7人が参加。不要な紙で食器を作る体験などを通じて、減災意識を高めました。



28年度さやま市民大学地域ジャーナル講座の
修生がお届けします
さやま・レポート 狭山自慢◎



2月3日は「節分」です。昔は、立春が一年の始まりとされ重んじられていたことから、立春の前日であるこの日を、季節の変わる日「節分」と呼ぶようになったといわれています。また、「季節の変わり目には邪気が生じる」とされ、厄除けの行事が行われるようになり、この風習が節分の豆まきの由来となっています。

この節分の日には恵方巻きを食べ、豆まきをする家庭も多いと思いますが、広瀬地区の「禅龍寺」では、100年以上続く伝統的な「節分会」が行われます。節分会には、厄年や干支年などに当たる年男が集まり、袴姿で本堂で祈祷した後、広瀬囃子が奉納される中、三仏堂に移動して、護摩の焚き上げを行います。その後、住職と年男が「鬼は外、福は内」と威勢のよい掛け声とともに豆や紅白餅、ミカンなどをまきます。

今年の節分会は、2月3日(出)の14時から1回、18時から、提灯を灯して2～3回行われます。一年の無病息災を願いに訪ねてみませんか。

◆万寿山禅龍寺
所在地 広瀬2-20-1 ☎2952-5560

働くことへの「思い」が詰まった発表会

12月6日(水)～9日(出) / Well-being(市民交流センター)

障害への理解を深めるイベントに、障害のある方3人が登壇し、これまでの道のりや夢を披露しました。「障害をマイナスとせず、自分らしく生きる」という発表者の熱い思いに、会場は大きな感動に包まれました。

今年のテーマは、「働くためのみちのり」



健脚自慢が自然の中を駆け抜ける

12月10日(日) / クロスカントリー in Sayama(狭山稲荷山公園)

自然を生かした、起伏に富んだ特設コースを走る大会に、全国から1,061人が参加。ファミリーの部では、出場した72組の親子が、それぞれ手を繋ぎながらゴールし、親子の絆を深めました。



今年新設されたファミリーの部

ゴール前のデッドヒートに、繋いだ手にも力が入ります!

鉛筆で描くふるさと狭山の原風景

12月5日(火) / えんぴつと筆で描く わがまち狭山(新狭山公民館)

鉛筆を使って静物画を描くことから始まり、この日は10人の受講生が屋外で水彩画にも挑戦。奥富小学校近くの田んぼのあぜ道で行った写生会では、お気に入りの場所でスケッチブックを開き、自然を感じながら初冬の狭山の一風景を描きました。



時折、田んぼに訪れる水鳥も、のどかな風景を演出します



あなたが写っていませんか? 広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

平和のために私たちが語り継ぐこと

12月3日(日) / 平和祈念講演会(中央図書館)

原爆の惨禍を伝えて平和への思いを次世代につなぐ講演会に62人が参加。画家の丸木夫妻が共同で描いた「原爆の図」に込められた「他者の痛みを知ること、人に優しくなれる」という思いに触れた参加者は、平和への誓いを新たにしました。



『原爆の図』は、東松山市の「原爆の図丸木美術館」に展示されています

煌びやかに冬のまちを彩る光のオブジェ

12月1日(金) / イルミネーション点灯(狭山市駅西口)

狭山市駅西口の駅前広場と市民広場、東口ロータリーを20,000個のLEDが彩っています。点灯式では、来場者の歓声とともに、幻想的な光の世界が現れ、続いて、市内の高校生が奏でるハンドベルの音が響くと、会場は温かな雰囲気になりました。



今年も七夕の妖精「おりびい」のイルミネーションが登場